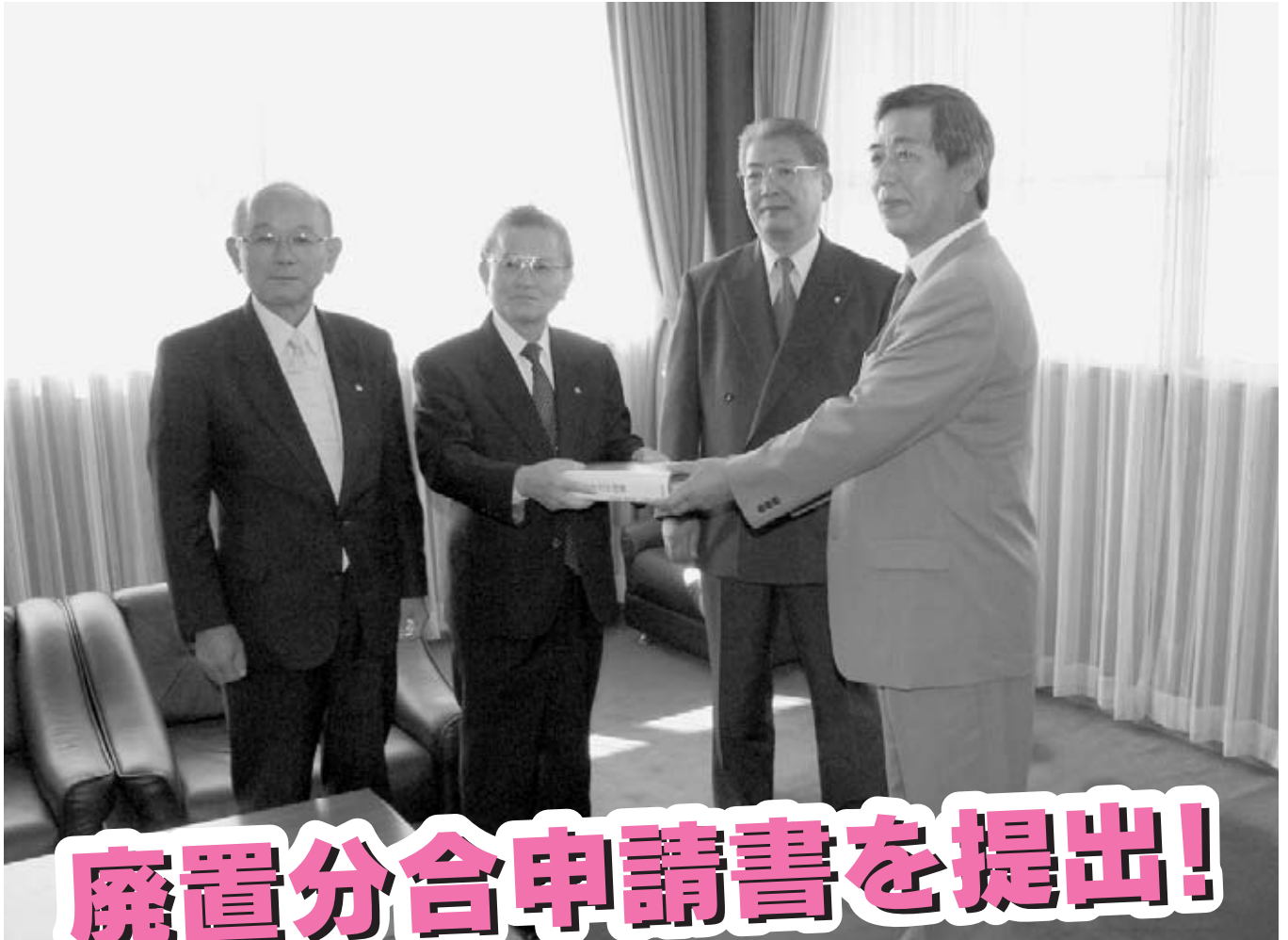


美方町・村岡町・香住町

合併協議会だより

第10号

平成16年11月発行



廃置分合申請書を提出!

▲配置分合(合併)申請書を提出〈但馬県民局〉

香住町は10月7日、美方町、村岡町は10月13日にそれぞれ合併関連3議案が可決されたことを受け、10月18日、3町の町長が但馬県民局を訪れ、西村県民局長に井戸敏三兵庫県知事にあてた廃置分合(合併)申請書の提出を行いました。

Contents

- 香美町誕生までの流れ 他 P 2
- 井戸知事祝辞(調印式より) 他 P 3
- 県内の市町合併への
取り組み状況 他 P 4

平成17年4月1日の香美町誕生へ向け

合併申請手続きをすすめる

《香美町の規模》

(平成12年国勢調査)

○人口 23,271人
(町の規模では県下で6番)

○面積 369.08km²
(町の規模では県下で1番)

美方町、村岡町、香住町の各議会では合併関連3議案が可決されたことに伴い、地方自治法第7条の規定にもとづき、県知事に対し、廃置分合（合併）の申請が10月18日に行われました。今後の予定は11月下旬から開かれる県定例会において、廃置分合の議決を経て、12月中旬に知事により総務大臣への合併の申請が行われることとなります。

その後、1月下旬の総務大臣の告示により、香美町が4月1日に誕生することが決まることとなります。

なお、申請書に添付された書類には、

- ・新町の名称選定の理由
- ・新町の事務所の位置及び選定の理由
- ・合併予定年月日
- ・廃置分合を必要とする理由
- ・合併協定書
- ・新町まちづくり計画
- ・議会の議決書及び会議の写し

などがあります。

また、廃置分合申請と合わせて3町合併に伴う郡名の取り扱いについて、香美町が属すべき郡の区域を「美方郡」とするよう県知事に申し入れがなされました。

【香美町誕生までの流れ】

県知事への合併の申請

10月7日に香住町、10月13日に美方町、村岡町でそれぞれの町議会の議決を経て、10月18日、3町長が但馬県民局を訪れ、西村県民局長に井戸兵庫県知事にあてた廃置分合（合併）申請書を提出しました。

県議会の議決

11月下旬に県定例会に廃置分合の議案が提出され、議決を経て、廃置分合の処分決定書を3町へ県知事から公布されることとなります。

総務大臣への届出

12月下旬には、知事より総務大臣へ廃置分合（合併）の申請が行われます。

総務大臣の告示

1月下旬の総務大臣の告示により廃置分合（合併）の効力が発生することとなります。このことにより、香美町が4月1日に誕生することとなります。

香美町の誕生

(平成17年4月1日)



木村 吉弘

新 木村 吉弘
旧 本城 繁信

(10月14日付)

また、議会議員の中から選出された美方町本城委員の辞職に伴い、次のとおり委員の交代が行われました。(敬称略)



井上 秀幸

新 井上 秀幸
旧 吉田 範明

(10月14日付)

【合併協議会委員の交代について】
美方町議会議長の交代に伴い、次のとおり委員の交代が行われました。(敬称略)

合併協定調印式より

井戸兵庫県知事の祝辞を

要約して紹介いたします。

美方町、村岡町、香住町の3町の合併調印式を迎えました。ただいま、それぞれ3町長さん、そして合併協議会でご議論を尽くしてこられましたメンバーの皆様方が、ご署名いただいたわけであります。感無量であったのではないかと存じます。

21世紀という新しい時代を迎え、住民の要請や声やニーズを、町政の中でどう具体化していくか、生かしていくかということを考えてときに、いつまでも国頼み、あるいは県頼みということだけではなくて、自主的に判断をして、自主的に実行をして、その責任は、判断者が問うんだという、地方自治の原点であります市町が自ら、責任を持った執行体制を組み上げることによって、住民の願いやニーズを具体化することができる、そういう新しい仕掛けを作っていく、その一翼を担われたんだと、私はそのように思っております。

しかも、この新香美町は、新しい仕掛け、地域自治区の制度を取り入れられました。ですから、小代区、そして村岡区、香住区というこの旧町を単位とする地域自治区が、地域の課題はそれこそ現地で解決するんだと、そして共通課題は、新町で解決するんだという意味での、いわば競争と協調の関係を作り出されたわけでありますので、そ

の競争と協調の関係を新香美町のシステムの中で、是非生かしていただきたいと思えます。

世界化、グローバル化とか情報化というのは一極集中だとか、標準画一化をもたらします。世界化、グローバル化すると、競争が激しくなります。競争が激しくなれば、強いところが独占しがちです。そういう意味で、一極集中ということが行われがちです。

また、情報化というのは情報手段というのは、手段ですから、使うべき道具は一緒に使うべき道具が一緒だとすると、よほど個性を発揮しないと画一化してしまいます。

そういう中で、地域の特性や地域の生き様というのをどう発揮していくかによって、初めて自己主張、あるいは競争力というもの、あるいは特色というのが出てくるのだと思います。

その地域でしか作れない地域づくりを進めてこそ、他の地域からも尊敬される、あるいは他の地域とギブアンドテイクの関係に入れる、ということなんではないでしょうか。

そのような意味で、先ほど競争と協調ということをいいましたが、まさしくこれがこれからの地域づくりのキーワードだと思います。新香美町の建設計画は、「美しい山・川・海 人が躍動する 交流と共生のまち」であります。まさしくその理念を謳われているのではないかと私は思うのです。仮に、美方町を山、村岡町を川、そして香住町を海、というこの3町の特性を生かされて、素晴らしい21世紀を担う新香美町づ

くりには皆様方努力をされ、素晴らしい新香美町がスタートを切られることを心からお祈り申し上げる次第でございます。

このようなお祝いの席に、私いつも詩を読ましていただくことになっております。ご披露させていただきます。

「皆々が 村里とともにかわいたつ
固い誓いぞ 未来を開く」

この詩に込めましたように、3町が大同につかれて、そして新香美町が素晴らしいスタートを切られますことを、心からお祈り申し上げまして、そして、これまでのご努力を積み重ねてこられました皆様方に、心からの敬意とお礼を申し上げます、私のお祝いの言葉に代えさせていただきます。おめでとございました。

(平成16年10月2日)



▲合併協定調印式で祝辞を述べられる井戸知事

関連事項

3町合併に伴い、3町に共通する公共的団体等の統一への取り組みを紹介します。

○3町の社会福祉協議会が合併協定に調印

10月19日、香住町の地域福祉センターにおいて、美方町、村岡町、香住町の社会福祉協議会による調印式が開催されました。

各社協の会長、理事長が17項目の協定書などに署名・押印し、来年4月1日の香美町の発足に合わせて、香美町社会福祉協議会を発足することが決まりました。

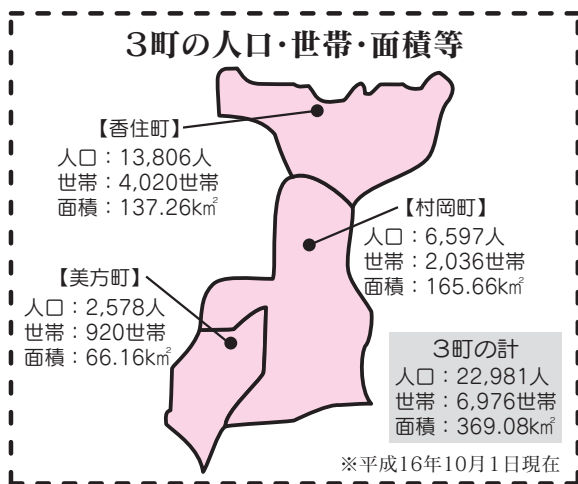
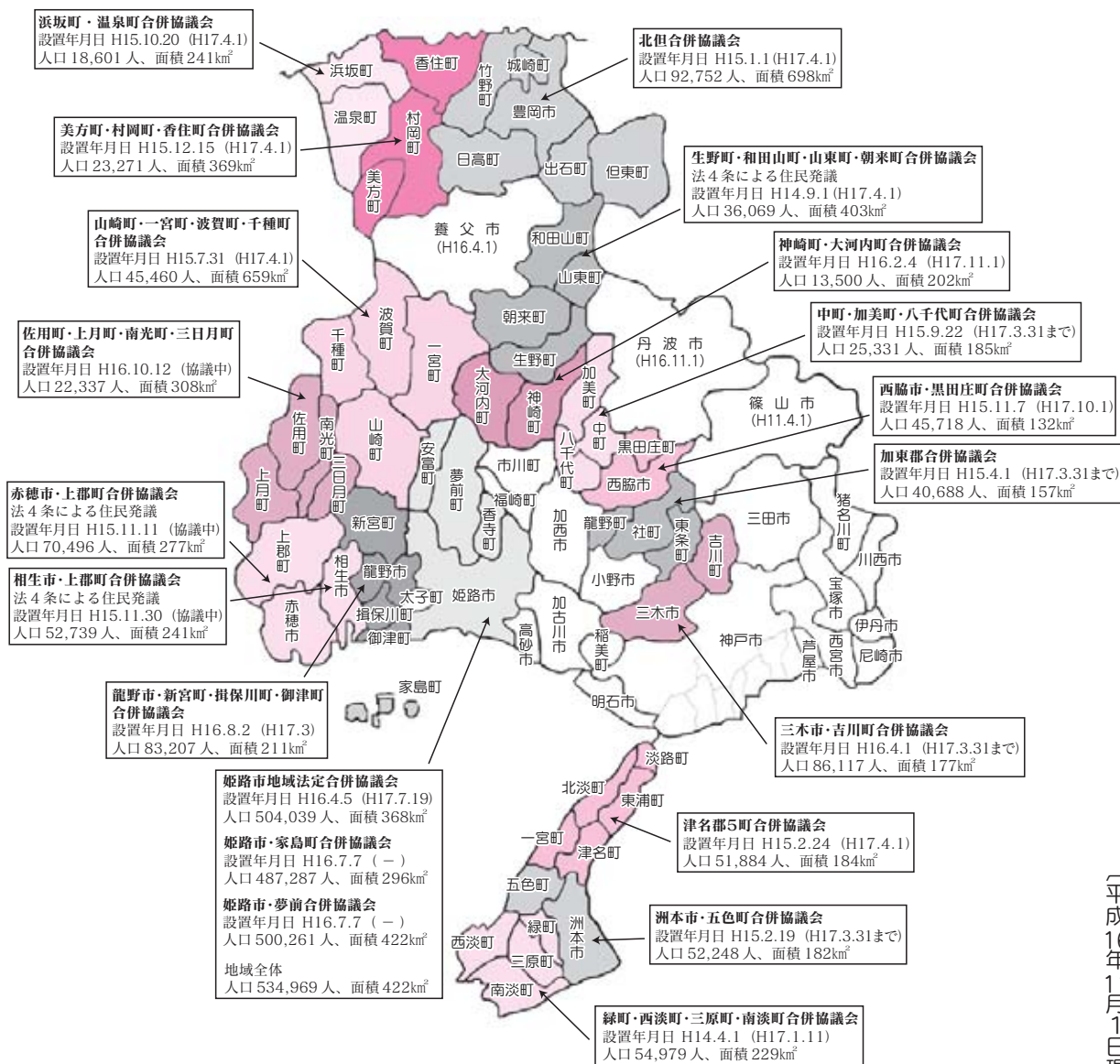
また、新社協の事務所は、現在の香住町社協の事務所のある地域福祉センターとする。こととし、同センターと美方、村岡町社協事務所に支所をおき、現行のとおり、ボランティアや外出支援業務などの拠点とすることも決まりました。



▲協定書を披露する3町社協会

県内の市町合併への取り組み状況

(平成16年11月1日現在)



※合併目標期日は設置年月日の後の()に記載

事務局の合併紀行

今年になってから台風が10個も上陸しました。これは今までで一番多い数だそうです。過去一番多かったのは1993年の6個が最高だそうです。先頃猛威をふるった台風23号は全国に大きな被害を与えました。但馬でも豊岡、出石などでは堤防決壊により大きな被害を受けました。

事務局の職員も微力ながら災害復旧のお手伝いに行っていました。ニュースとかで見ると悲しい状況に驚きました。県内外から多くのボランティアが集結し、中には高校生も加わり、みんなが力を合わせ泥やゴミの撤去を続けています。被災されたみなさまの一日も早い復興をお祈りいたします。

【発行】 美方町・村岡町・香住町合併協議会
【住所】 〒667-1368
兵庫県美方郡村岡町入江711番地の2 (村岡町射添会館内)
電話 (0796)99-5050
FAX (0796)95-0221
E-mail mmk3t-gappei@fine.ocn.ne.jp
URL <http://www.mmk3t-gappei.com/>